

第2期岡山市空家等対策計画案に対するパブリックコメント（意見募集）の結果について

1) 意見募集の概要

募集期間	令和7年12月5日（金）から令和8年1月5日（月）
閲覧場所	建築指導課、情報公開室、各区役所（総務・地域振興課）、各区支所（総務民生課）、各区地域センター、本市ホームページ
意見の提出方法	電子メール、ファクス、郵送、持参、ホームページ上での入力
意見の提出先	岡山市 都市整備局 住宅・建築部 建築指導課

2) 意見募集の結果

（1）意見提出数 5項目（2人）

（2）意見の概要及び本市の考え方

	項目	意見等の概要	意見に対する市の考え方
1	空き家 予備軍に ついて	<ul style="list-style-type: none"> ・単身高齢者等は、自宅不動産への関心よりも医療や福祉等への不安の方がより増している。高齢者等へ寄り添った伴走支援ができていない。 ・単身高齢者等が施設入所や入院した場合の高齢者への支援を望む。 	頂いたご意見は、関係部局と共有し、今後の参考にさせていただきます。
2	空き家の 流通に ついて	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家情報バンクが周知されていない。 ・空き家情報バンクの登録を増やすべき。空き家の流通を促進するためにもリフォームや家財等処分のように、空き家情報バンクへの登録を促す新たなインセンティブが必要である。 	空き家情報バンクの登録数の増加に向けて、当該制度の周知や利用促進に取り組んでまいります。新たなインセンティブの必要性を含めて、頂いたご意見は、今後の参考とさせていただきます。
3	体制に ついて	<ul style="list-style-type: none"> ・計画案では空き家の築年数データが不明。旧耐震基準の空き家に関しては、『家じまい』も視野に入ってくる。 ・大分市佐賀関の大規模火災では、住宅密集地での防災上の問題が表面化したが、岡山市中心部でも旧耐震基準の木造建物の空き家もある。 ・行政指導等を含めた空き家対策は、岡山市の現状の体制では対応できないと推測される。 ・岡山市建築指導課に専従の『空き家等対策班』の設置、岡山市による積極的な 	<p>現在、建築指導課内に空家対策推進室を設置し、行政指導等を含めて専従で空き家対策の推進に取り組んでいるところです。</p> <p>また、令和6年度に実施した全数調査をもとに、空き家の実態把握や台帳の整備等を進めながら、本計画をもとに空き家対策の強化を進めたいと考えております。頂いたご意見は今後の参考にさせて頂き、引き続き空き家対策にしっかりと取り組んでまいります。</p>

		『空き家の実態把握』、民間と協力した『空き家台帳の整備』に向けて取り組んでいただきたい。	
4	相談窓口について	<ul style="list-style-type: none"> ・相続で空き家になる実家をどうしたらいいかわからない時もあると思うので、相続とセットで相談窓口を作って欲しい。 ・空き家をどうするか、市役所で不動産や行政書士とまとめて一括対応してほしい。 	これまでも空家対策推進室内に設置した「空家等総合相談窓口」で空き家に関連する相談を受け付けていますが、専門性の高い相続・不動産等の相談窓口の充実に向けて、今年度より「空家等管理活用支援法人」を2団体指定したところであり、当該団体と連携しながら、多様な相談に対応できるよう取り組んでまいります。
5	相続登記について	<ul style="list-style-type: none"> ・相続登記の名義変更を簡単にしてほしい。 ・死亡届を出したら、銀行、土地、家など故人に関する全てをマイナンバーを介して一括変更できるようにしてほしい。 ・マイナンバーがあれば様々な手続きが不要になるようなシステムを作って欲しい。そこに税金を使って欲しい。 	相続登記は法に基づいた手続きが必要となりますが、頂いたご意見については、関係部局に共有させていただきます。